

キミも宇宙兄弟 ～ドキドキ夢体験～

1 ねらい

- 天文を学習する小学校4年生から中学校3年生を対象に、体験活動を中心にした天文学習を行う。
- 宇宙に夢を求めた人々の生き方を参考にして、「夢を実現させること」について考えを深める。
- グループでさまざまな課題を解決する過程において、「仲間との絆」や「人間関係形成力」「コミュニケーション能力」を育てる。

2 期日 令和元年9月14日(土)～16日(月・祝)【2泊3日】

3 対象 小学生4年生～中学生3年生

4 参加人数/募集人数 19名/18名

5 講師・スタッフ

国立立山青少年自然の家職員 2名、法人ボランティア 10名
国立宇宙航空研究開発機構(JAXA)職員 1名

6 主催 国立立山青少年自然の家

7 後援 富山県・新潟県・石川県教育委員会、立山町教育委員会、北日本新聞社



8 日程

	午前	午後	夜
9月14日 (土) 1日目	受付 開講式 オリエンテーション アイスブレイクゲーム	「JAXA」に勤務している方の話を聞こう(Mi I) 宇宙船室をつくろう(Mi II) 宇宙食をつくって食べよう(Mi III)	宇宙船室を外に出して、星空を眺めよう(Mi IV)
9月15日 (日) 2日目	宇宙の神秘を学ぼう①(Mi V) ①秋の星座伝説 ②宇宙開発と宇宙生活 「プログラミング体験をしよう」①(Mi VI)	「キミは地球の危機を救えるか…」(グループ討議)(Mi VII) 「プログラミング体験をしよう」②(Mi VII)	宇宙の神秘を学ぼう②
9月16日 (月・祝) 3日目	脱出ゲームに挑戦(グループ体験活動)(Mi VIII) ドローンを使ったプログラム制御体験(Mi IX)	「2日間の自分たちを振り返り、これからの夢について語ろう」(Mi X) 閉講式	

9 参加者からの感想

- JAXAの方のお話がとても面白かった。宇宙の技術は地球を守るために必要な技術であることが分かった。分かりやすく説明していただいて、通信のしくみが良く分かった。
- プログラムのことは全く知らなかったけど、いろいろな人に教えてもらえてできるようになった。とてもうれしかった。来年もぜひ来たい。
- ドローンを操作するプログラミング体験は、どんどん難しい課題をクリアして行けたので興奮した。



10 成果

- 本年度は、JAXA職員の講演会を一般募集して大規模に開催した。約80名の参加者が募った。また、事業期間を2泊3日に延ばしたことで、日程に余裕ができ、各ミッションに参加者が落ち着いて取り組んでいた。
- 今回は、プログラミング体験を取り入れた。参加者は、興味をもって取り組んでいた。また、ドローンの操作体験も行い、宇宙開発で生まれた先端技術が、身近な生活で活用されていることを体感することができた。

11 今後の課題

- 来年度は実施しないことが決まっている。理科離れを解消したり、キャリア教育の観点で「ひと・もの・こと」の関わりを体験的に学んだりする本事業は教育効果の高い事業だったと言える。